

# あくしゅ



## 2学期、スタート！

2学期の指導がスタートしました。感染対策を行いながらの夏休みではありましたが、子どもたちからも楽しかったことやチャレンジしたことなど色々お話を聞きました。一回り成長した子どもたちに出会うことができました。

「きこえ・ことばの教室」では、2学期もお子さんの課題が少しでも改善できるよう努めています。2学期もよろしくお願いいたします。

## 難聴の理解啓発授業を行いました！

毎年、三ヶ島小学校の6年生に、難聴の理解啓発授業を行っています。今年は6月30日、7月1日に行いました。子ども達は、聞こえにくい体験をしたり、『難聴理解かるた』を使って聞こえにくい人の気持ちを考えたりしました。今は、コロナ禍で当たり前になっているマスクでの生活。しかしこの状況は、話している人の口元や表情など目からの情報が得られないので、聞こえにくい人にとってどれだけ大変なことかということについても理解を深めました。



## ☆子ども達の感想(抜粋)☆

- うるさいときに聞きづらかったり、「か・さ・た」などが「あ」に聞こえたりして不安だった。聞こえにくい人はストレスがたまったり、不安があったりすることを学んだ。これからは、気づいてもらえるように肩をたたいてあげることも大事だと思いました。
- 耳の障害は目に見えない障害だけど、もしそういう人を見つけたら、声をかけてあげたり、その人のために自分ができることをしてあげたいと思いました。
- 今日の授業で、耳の聞こえにくい人の大変さや辛さを知ったので、もし近くにそのような人がいたら、困っていることがあるか聞いたり、手伝ったりできるようにしたい。
- 耳が聞こえづらかったりすると、「何度も聞き直して迷惑にならないかな。」と不安になったり、真剣に聞こうと思ってるのに聞こえないことなどがあり、イライラしてしまうということを短い時間なのに感じた。常にこんな思いをしている人のためにも、困っていたら声をかけたり、紙に書いて伝えたり、少し大きな声ではっきり話してあげるなどの工夫をしたいなと思った。
- マスクをしていると、何を話してるのか聞きづらいから書いて教えたり、その人が困らないように考えたりしたい。
- 聞こえにくい人の気持ちが分かった。はっきり、短く、ゆっくり話そうと思った。聞こえにくい人のことを思って話していきたい。相手のことを思ってやることで、自分も相手も良い気持ちになると思う。思いやる気持ちを大切にしていきたい。

## 教育課程協議会を行いました！

7月末に、通級児童の担任の先生に来校していただき「通級児童の教育課程協議会」を行いました。主な内容は、(1) 通級とは (2) 三ヶ島小「きこえ・ことばの教室」について (3) 課題(構音・吃音・難聴)についての基礎知識 (4) 児童の情報交換 でした。日頃、担任の先生とは連絡帳でのやりとりはしていますが、なかなかじっくりとお話することはできません。協議会では、子どもたちの指導の様子の映像を見ていただいたり、学級の様子について伺ったりしました。先生方も積極的に質問してくださったり、参加された先生方同士でも話し合われたりして、大変有意義な時間となりました。これからも担任の先生方との連携を密にして、お子さんの課題改善に役立てていきたいと思ひます。



- ・実際の指導の映像で、児童が頑張っていることが分かり嬉しかったです。
- ・学級とはまた違う姿を見ることができました。とても楽しく通っていることが分かり、大好きな場所になっているんだと感じました。
- ・他校の児童の話も聞けてとてもよかったです。通級での様子が観れて良かった。努力している姿に感動した。
- ・吃音について深く知ることができた。本人の思いや対応の仕方を学ぶことができた。通級でどんなことをしているのかを知り、症状だけでなく、教室についても知ることができた。担任として、「きこえ・ことばの教室」と保護者・本人をつなぐことの大切さに気付くことができた。
- ・通級での頑張りを教室でも認め、自信につながるよう支援していきたいと思ひた。
- ・他の学校の同じ障害の先生方と一緒に話し合いができたことで、色々な気づきがありました。また、授業の様子を動画で観られたことで通級指導の内容が具体的に分かりました。

## 夏季職員研修を行いました！

毎年夏休みに、三ヶ島小職員に研修を行っています。今年度は、「吃音」をテーマにして、吃音の基礎知識、吃音のある子の気持ち、学級での配慮、通級児童の変容などについて話しました。吃音のある人は「100人に1人」と言われています。誰もが吃音について正しく知ること、吃音のある子・人たちが過ごしやすくなるといいなと願っています。

- ・学級で、どんなことに気をつけたら良いのか分かった。これから吃音の子と接することがあった時、配慮でやったことが、本人の望んでいないことだったということもあるので、関わり方に気をつけようと思ひた。
- ・自分のクラスに吃音のある子がいるので、勉強になりました。やはり、その子によくよく話を聞いてみるのが大切だなと思ひました。
- ・吃音がある子に、担任として配慮してほしいことがとても勉強になりました。学年に吃音がある子がいるので気をつけていきたいと思ひます。
- ・吃音についてしっかりと理解すること、周りの人間・環境が大切だということがよく分かりました。自分の学級に吃音の児童がいたとき、皆の前でつまらせないようにしてしまったり、先に相槌をしてしまったりしたことを思い出しました。これからは、誰もが安心して発言できる学級や社会をつくりたいと思ひました。
- ・通級に通うことで、吃音が治るわけではないが、吃音から起る問題を軽減することができ、本人が自身の吃音のことをよく知ることの大切さを感じました。
- ・「きこえ・ことばの教室」に通っているお子さんの思いや不安を知ることができました。子どもを取り囲む環境を温かく、過ごしやすい場所にできるよう、子どもの背景を理解していきたいと思ひました。